

第13章 都市経営に関わる組織の改革について

提言

- 1 岡山市の都市ビジョンの実現のため岡山市役所の都市経営会議は、「調整」、情報交換的な機能を持つだけでなく議論を尽くした後に意思決定ができるものとして位置づけ直す必要がある。局長クラスの幹部職員が岡山市という全体最適の観点に立って議論を尽くした結果、判断がなされる会議、都市経営の方向性が共通認識できる会議とする必要がある。
- 2 都市経営会議については、会議のありかたに改善を要する点があり、この改善によって具体的に人件費が、何人、何円分の改善効果が可能という分析をするに至っていない。ただ、指摘を実現すれば都市経営会議の重要性に鑑み、下位の会議体、各部署の意思決定の効率化にも資するから一定の人件費の合理化が見込める。
- 3 局長クラスの幹部職員が岡山市という全体最適の観点に立つ意識改革の実現のためには、浜松市において実施されているような「局長宣言」を行い、これを岡山市のホームページ上に情報公開するような工夫も参考となろう。



②



